

中山間地の農地保全と経営規模拡大プラン

鳥取県日野町

高田 昭徳



レンゲ（菅福地区自家圃場）



水稻試験圃場

1 はじめに

わたしは平成 17 年、大学卒業とともに、鳥取県 に雇用就農しました。100ha 規模の水稲経営に携わる中で、独立を念頭に、3 年間働きました。

その後、平成 22 年に、日野町に 就農し、水稲栽培を主とした農業経営をしてきました。

水稲に携わるきっかけとしては、 大学入学時感じた鳥取のお米の美味しさ、日本の主食であるからこそ、美味しいものを提供したいとの思いからでした。

そんな中、この日野町での就農を考えたのは、知り合いからの紹介があったこと、出会った方が素晴らしかったこと、さらには、きれいな水、確実に美味しいお米があったからです。

平成 25 年には、環境に配慮した栽培を進めていくため、エコファーマーを取得しました。その取り組みの一環として、レンゲを導入しており、反収向上につなげていこうと思っています。

これにより、情報発信、販路拡大、販売単価向上を目指していこうと考えています。今後、特別栽培を取得することで、顧客の信用、市場の認知度を上げていこうと考えています。

現在、 地区を中心に、高齢化のため手放される農地を保全することと、経営規模拡大を図るため、年々農地拡大を図ってきました。

そうするなかで、地域の中核農業者として 地区を中心に活動しています。

今後、加速度的に農地が手放されるのではないかとの懸念、さらに、受託作業の増加が考えられます。

このたび、新規就農の認定就農者から、認定農業者となることで、地域の信用をさらに大きくしていくことで、農地拡大、受託作業を受けていこうと思います。

そのため、より生産効率の良い機械の導入により、作業効率の向上とともに、地域の若手中核的役割を担い、地域活性化に努めていきます。

2 農業経営の現状と課題

(1) 農業経営の現状

現在、水稲 223a、ソバ、ナタネの二毛作で、177a の栽培をしております。

菅福地区の中核農業者として栽培しております。

平成 25 年、エコファーマーを取得し、環境に配慮した栽培を心がけています。

主な機械装備、トラクター（2 台）、軽トラック、色彩選別機、精米機、田植え機、乾燥機（2 台）、籾摺り機。

(2) 農業経営の課題

1) 農地拡大

今後、経営規模拡大のためには農地拡大が必要

2) 品質（外観、食味）、反収向上

適期刈取りが出来ていないことから品質の低下

土作りが不十分であったため反収が不安定

3) 販路拡大

現在、直接販売が主流

4) 収穫作業

近隣農家の方から、コンバインを借りていたのですが、20 年以上経っており、壊れてしまい、多額の修理費用が見込まれ、作業性も低い

5) 転作作物の反収向上

排水不良、及び、刈取り作業の遅れ。

3 目標達成のための具体的な取組と改善内容、効果

1) 地域の信頼を得ることにより、米の作付農地の拡大が考えられます。

2) 県外出荷も多いため、県外で評価される米をめざし、日野郡産米レベルアップ協議会に参加し、肥料試験等行いながら食味向上に取り組んでいます。

また、レンゲの導入により、土壌構造改善をし、反収向上が考えられます。

3) 国際食味コンクールの上位入賞めざすことで、直接販売の裾野拡大と、ネット販売等大口取引先との取引を図っていきます。

4) 新しく、3 条コンバインの導入により、作業性が向上し、適期刈取りでさらなる品質向上ができるようになります。

5) 転作作物は、排水対策、適期作業を行うことで、反収向上を図ります。

(経営の概要)

水稻

	25年(実績)	26年	27年	28年	29年
利用権設定	223a	223a	400a	550a	550a
受託作業	100a	100a	100a	300a	300a
個人販売					

*作業受託（耕耘、代掻き、草刈、稲刈り、乾燥）

転作作物

	25年(実績)	26年	27年	28年	29年
ナタネ	177a	177a	177a	177a	177a
ソバ	177a	177a	177a	177a	177a

4 事業効果と地域への波及効果

- (1) 新しく3条コンバインを導入することで、作業の効率化により適期作業が可能となり、さらなる規模拡大が考えられる。
- (2) 農地の規模拡大により、耕作放棄地の解消につながる。
- (3) 受託作業を行うことで、高齢化した周辺地域の農家の手助けとなり、生産体制強化となる。
- (4) 地域の中核的若手農家として活動していきます。
- (5) 地域の雇用をうみだす。

5 具体的な取組内容

項目	H26	H27	H28	H29	支援体制
水稻コンバインの導入	◎				本人、県、町
農地拡大	○	○	○	○	本人、農業委員会
収量、品質向上への取り組み	○	○	○	○	本人
販路拡大	○	○	○	○	本人
作業受託の拡大	○	○	○	○	本人
水稻の特別栽培の取得		○			本人、県

◎がんばる農家プランで実施。 ○本人が主体となって実施

6 支援事業の内容

年度	事業導入品目	事業費（消費税込）	負担割合
H26	水稲コンバイン(3条)	6,491.1	実施主体 1/2 県 1/3 町 1/6

(単位:千円)